



# 輸送運営計画V2（案）について

2019年3月27日

# 1 輸送運営計画V2とは

作成目的：

- ・ 輸送の使命を果たすために提供するサービスや取組、またその前提条件等輸送の全体像を明らかにすること。
- ・ 輸送の全体像を市民や関係機関と共有すること。
- ・ 輸送の検討状況を IOC/IPCに報告すること。

作成主体：

組織委員会と開催都市である東京都と共同で作成

## 2 輸送運営計画V1からの進化

- V1策定（2017年6月）以降に更新された前提条件を反映
  - ・ 競技スケジュール（セッションスケジュール）
  - ・ 競技会場、非競技会場、輸送デポなどの輸送関連施設
  - ・ ステークホルダーの人数 など
  
- 検討の深度化に伴う内容を反映
  - ・ 東京圏及び地方におけるORN/PRN、観客輸送ルート、観客利用想定駅の各案
  - ・ TDM、TSM及び公共交通輸送マネジメントの取組内容
  - ・ 追加施策の検討
  - ・ 車両の調達・管理・運用 など
  
- その他
  - ・ 輸送のサインや輸送のテストなど安全・円滑な大会輸送に必要な取組 など

### 3 輸送運営計画V2（案）の構成案

編	章構成	
I 前提条件	1 はじめに 2 輸送目標及び戦略 3 役割及び責任 4 輸送に係る体制	5 ステークホルダー 6 競技会場及び競技日程
II ステークホルダーへ提供する輸送サービス	(関係者別) 7 大会関係者の輸送 ※ 8 観客及びスタッフの輸送 ※ (サイト別) 9 競技会場における輸送 ※	(イベント別) 10 開閉会式における輸送  ※ 輸送ルート、パラリンピック輸送の記載を含む。
III 輸送サービスを提供するための手段	11 輸送の指揮系統 12 輸送のセキュリティ 13 リスク管理 14 交通マネジメント 15 車両の調達・管理・運営 16 パラリンピック移行	17 輸送スタッフ 18 輸送の広報 19 輸送のテスト
IV 大会後を見据えた取組	20 輸送の持続可能性 21 輸送のレガシー	
附則	輸送の予算、用語集	

凡例：赤字はV2(案)で追加を想定する章

## 4 想定する記載内容 (1/3)

章	想定する記載内容
1 はじめに	・本計画の目的、位置付け、構成、更新スケジュール
2 輸送目標及び戦略	・輸送目標及び輸送戦略
3 役割及び責任	・組織委員会、開催都市である東京都の関係機関等の役割及び責任
4 輸送の関する体制	・輸送連絡調整会議、交通輸送技術検討会、2020交通輸送円滑化推進会議などの輸送の検討体制 ・2020TDM推進プロジェクトによるTDMの推進体制
5 ステークホルダー	・ステークホルダーの種類、更新した人数
6 競技日程及び会場	・競技日程として最新のセッションスケジュール ・競技会場、非競技会場、その他輸送の施設の名称、位置など
7 大会関係者の輸送	・大会関係者へ提供する輸送システム（TA、TMなど）の概要 ・出入国時や開閉会式時の輸送サービスの概要 ・関係者輸送ルート(ORN/PRN)設定の考え方 ・大会ルート（案） ・想定移動時間設定の考え方 ・スムーズな乗降を行うための仮設スロープの設置などの配慮事項 など

## 4 想定する記載内容 (2/3)

章	想定する記載内容
8 観客及びスタッフの輸送	<ul style="list-style-type: none"><li>・観客・スタッフの輸送手段となる輸送モードの概要</li><li>・観客・スタッフの需要</li><li>・観客輸送ルート設定の考え方</li><li>・観客輸送ルート（案）、観客利用想定駅</li><li>・案内・誘導の考え方 など</li></ul>
9 競技会場における輸送	<ul style="list-style-type: none"><li>・会場輸送の概要、パラリンピックにおける取組、車両認証／駐車許可 (VAAPs)の概要</li><li>・東京圏会場における輸送の概要（会場周辺の輸送ルートを含め会場ごとに記載）</li><li>・地方会場（東京圏外）における輸送の概要（同）</li><li>・会場周辺における交通対策やアクセシビリティ確保の考え方 など</li><li>・非競技会場（練習会場、IBC/MPC、選手村、宿泊施設、公式出入国地点）、その他施設における輸送サービス</li></ul>
10 開閉会式における輸送	<ul style="list-style-type: none"><li>・日程、輸送規模、今後の進め方 など</li></ul>
11 輸送の指揮系統	<ul style="list-style-type: none"><li>・大会運営の指揮系統(C3)の考え方</li><li>・輸送センター(TROC)の位置付け、目的・役割、機能・構成、スケジュール など</li></ul>
12 輸送のセキュリティ	<ul style="list-style-type: none"><li>・目的、今後の進め方 など</li></ul>

## 4 想定する記載内容 (3/3)

章	想定する記載内容
13 リスク管理	・輸送のリスクと対処の考え方 など
14 交通マネジメント	・大会時の交通状況、交通マネジメントの必要性、交通マネジメントの種類 ・TDM、TSM、公共交通輸送マネジメントの概要 ・追加施策の検討 ・TDM/TSMの試行の概要 ・今後の検討スケジュール
15 車両の調達・管理・運用	・車両の調達方法、台数、納車・返車、燃料供給、洗車などの車両の管理 など
16 パラリンピック移行	・移行期間、移行内容の概要 など
17 輸送スタッフ	・輸送スタッフの種類、人数、研修に向けたスケジュール など
18 輸送の広報	・目的、手段、今後の進め方 など
19 輸送のテスト	・目的、種類、想定するテスト内容、今後の進め方 など
20 輸送の持続可能性	・背景、目標・方針、取組内容
21 輸送のレガシー	・アクセシビリティや交通マネジメントなどのハード・ソフトのレガシー
用語集	・輸送の予算 ・TSMなど新たな用語の追加等

# 【参考】輸送運営計画V1の概要

## 1 輸送運営計画とは

➢ 組織委員会及び東京都が、輸送の条件や提供するサービス等の検討・取組状況について、関係機関と調整し、とりまとめた計画

## 2 計画策定の目的

- サービスや取組、前提条件等、輸送の全体像の明確化
  - ・ 誰を、どこからどこまで輸送するのか
  - ・ 提供する輸送サービスの内容
  - ・ 目標とする輸送を実現するための取組
  - ・ 将来社会に生きる輸送のレガシー
- 輸送の全体像について、関係者や市民と共有
  - ・ 輸送連絡調整会議（国の関係省庁、警察、地方自治体、高速道路会社、鉄道事業者等）の枠組みを活用してデリバリーパートナーと共有
  - ・ V1（案）を一般公表予定
- IOCへの提出
  - ・ TRAレビュー（3月）において、概略についてIOC確認済
  - ・ 内容確定後、IOCへ提出予定

## 3 記載内容（例）

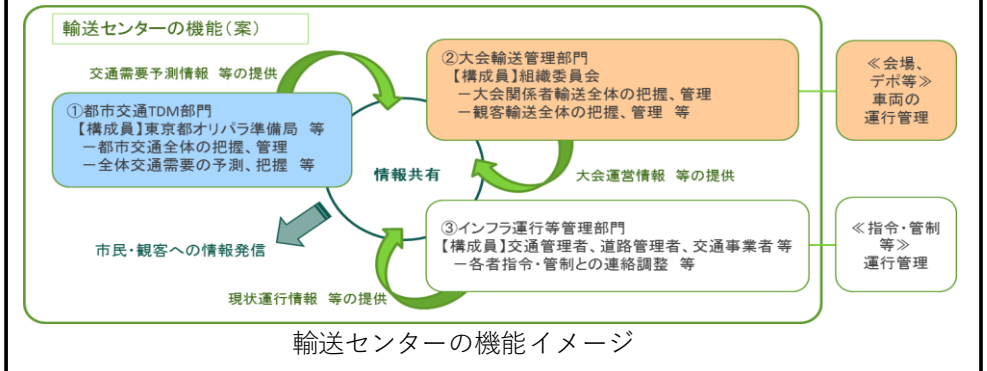
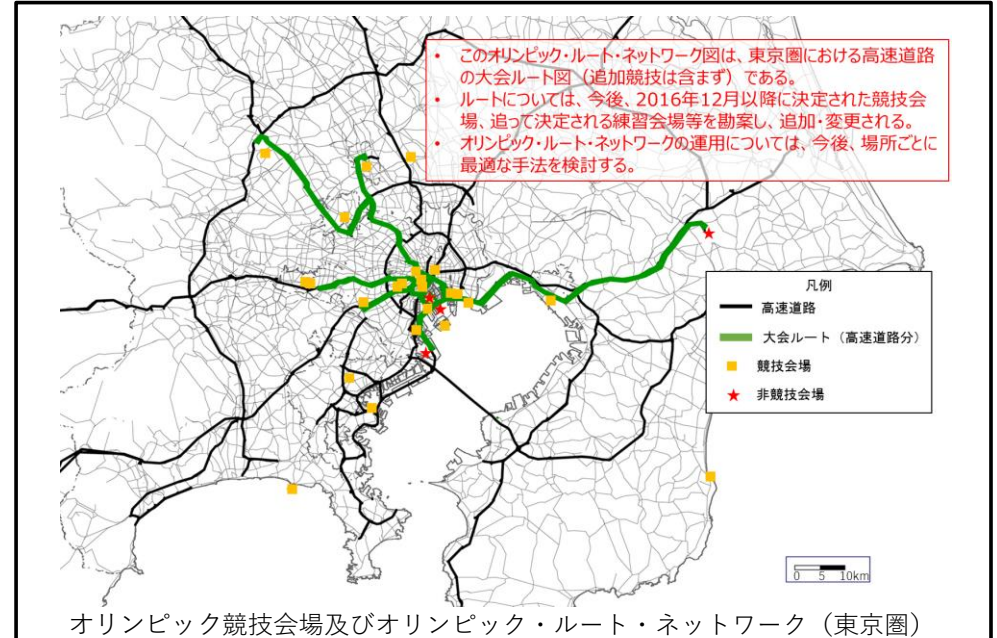
- ・ 各ステークホルダーに提供する輸送サービスの内容
- ・ 関係者輸送ルート（オリンピック・ルート・ネットワーク）設定の考え方
- ・ 交通需要マネジメント（TDM）の構想
- ・ 輸送センターのあり方

## 4 当面のスケジュール

- 5月18日 輸送連絡調整会議開催、V1（案）の公表
- 6月初旬 IOC提出
- 6月12日 組織委員会 理事会報告

## 5 今後のスケジュール

- 2018年度 V2（案）の作成
- 2019年度以降 V2について順次、IOC及びIPCの承認を得る予定





## 1 はじめに

○本計画の目的、更新について記載

## 2 輸送目標及び戦略

○輸送目標とそれを達成するための戦略を記載

例) 輸送目標

- ・大会に係る円滑な輸送の実現と都市活動の安定の両立を図る。

例) 輸送戦略

- ・総合的かつ先進的な交通マネジメントを展開する。これにあたっては、交通需要マネジメントに加え、インフラを最大効率で活用するための交通インフラのマネジメントを実施する。

## 3 役割及び責任

○輸送における役割及び責任を記載

- 例) 輸送における組織委員会と開催都市の役割及び責任
- ・ステークホルダーへの輸送サービスの提供

○検討体制である輸送連絡調整会議を記載

## 4 ステークホルダー

○ステークホルダーの種類及び想定人数を記載

## 5 競技日程及び会場

○競技日程（立候補ファイナル時点）及び競技会場（2017年4月1日現在）を記載

## 6 大会関係者の輸送

○関係者が会場間を移動する輸送システム（TA、T1、T2、T3など）について、ステークホルダーごとに提供することを記載

例) 選手及びNOC/NPC

- ・選手及びNOC/NPCの宿泊施設である選手村を起点とし、競技日程及び練習日程に従い、各競技会場、練習会場間を専用バスで移動できる輸送システム(TA)の提供を基本とする。

○関係者が利用する輸送ルートについて、ルート設定の考え方を記載

例) オリンピックルート・ネットワーク設定にあたっての基本コンセプト

- ・一般道においては、交通容量の大きい4車線以上の道路を優先して選定する。

○大会関係者が利用する車両の調達や使用方針、管理の考え方を記載

例) 車両の調達

- ・（略）効率性や費用対効果なども踏まえ、東京都以外の道府県のバス事業者からも調達するなど、最善の方法を決定していく。

○輸送デポの施設整備について、関係機関と連携して整備していくことを記載

## 7 観客及びスタッフの輸送

○観客・スタッフが利用する公共交通網と観客輸送ルート設定の考え方、観客利用想定駅などを記載

例) 観客輸送ルート設定の考え方

- ・歩行延長が過度に長くないよう、会場から一定圏内にある鉄道駅を観客利用想定駅として選定することを基本とする。

## 8 競技会場における大会関係者輸送

○競技会場内・周辺における輸送、車両認証／駐車許可(VAPP)の仕組みなどについて記載

## 9 非競技会場における大会関係者輸送

○練習会場やIBC/MPC、選手村、宿泊施設などの非競技会場の輸送の特徴を記載

## 10 地方会場における輸送

○選手村からの輸送を行わない会場としての地方会場について、輸送の特徴を記載

例) 地方会場における輸送の特徴

- ・地方会場においては、選手を始めとしたステークホルダーが、競技会場近郊のホテルに宿泊する場合がある。そのため東京圏の会場において提供される輸送サービスとは異なるオペレーションが必要となり、それを踏まえた輸送の検討が必要になる。

## 11 交通需要マネジメント(TDM)

○ロンドンの事例も参考にしつつ、東京における交通の特性を踏まえ、大会に係る円滑な輸送の実現と都市活動の安定の両立が図られるよう、意識啓発や物流への対応など様々な方策を検討することを記載

## 12 輸送のセキュリティ

○輸送部門とセキュリティ部門との連携により対応していくことを記載

## 13 リスク管理

○リスクマネジメントを行うことを記載

## 14 大会輸送の運営管理

○輸送センターの目的・役割として、メインオペレーションセンターや都市オペレーションセンター等と連携し、輸送に関する情報の収集・発信、現場レベルで解決の難しい事案についての調整機能を有することなどを記載

## 15 輸送の持続可能性

○低公害・低燃費車両の活用や公共交通機関の利用促進等を記載

## 16 輸送のレガシー

○アクセシブルな環境整備や交通マネジメントを通じて得られる知見や経験等がレガシーになることを記載